

事務事業名		農業集落排水維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	都市建設部	担当課	下水道課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり				担当係	維持係	担当課長名	増田道久		
	施策	4 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	4 生活排水施設の適正管理				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	18700	特別	1	1	1	農業集落排水維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間		S62年度～ 年度	根拠法令 条例等	佐野市農業集落排水処理施設条例				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		一部委託		
事業区分						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)										
農業集落排水処理施設4地区の維持管理をする。			・農業集落排水処理施設 4地区の維持管理を行った。										
○飯田地区水処理センター 管渠延長 L=4,599.0m ○並木地区水処理センター 管渠延長 L=5,494.2m ○佐野西部地区水処理センター(他MP7箇所) 管渠延長 L=17,950.0m ○常盤地区水処理センター(他MP6箇所) 管渠延長 L=16,170.2m			主な活動経費 光熱水費 16,977千円、工事請負費 8,327千円、委託料 23,909千円			活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
処理場数			箇所	4	4	3							
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)													
飯田、並木、佐野西部、常盤の各水処理センター			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
処理場数			箇所	4	4	3							
年間処理水量			m	483,692	494,875	400,000							
目的													
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)													
処理施設の適正管理を行い、場内からの処理水等BOD、SSを環境基準(河川)値内で、公共用水域に放流する。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
放流水の環境基準を超えた回数			回	0	0	0							
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)													
放流水質が基準値内になっている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
公共下水道の晴天時占有率(有水量/晴天時流入量)			%	60.7	58.3	62.0	63.0	64.0					
終末処理場の放流水質基準値適合率(基準値内検体/水質調査検体)			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	10,670	12,065	32,227					
	一般財源	千円	45,119	47,177	38,923					
	事業費計(A)	千円	55,789	59,242	71,150	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	4	旅費	0	旅費	10		
			需用費	19,958	需用費	20,588	需用費	26,480		
			役務費	4,197	役務費	3,781	役務費	4,922		
			委託費	22,845	委託費	23,909	委託費	28,821		
使用料及び賃借料			6	使用料及び賃借料	6	使用料及び賃借料	6			
工事請負費			5,040	工事請負費	6,000	工事請負費	6,000			
負担金、補助及び交付金その他	2,564	負担金、補助及び交付金その他	2,631	負担金、補助及び交付金その他	4,971					
人件	正規職員従事人数	人	2	2	2					
のべ業務時間	時間	960	960	960						
人件費計(B)	千円	3,735	3,783	3,783	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	59,524	63,025	74,933	0	0				

事務事業名	農業集落排水維持管理事業	担当部	都市建設部	担当課	下水道課	担当係	維持係
-------	--------------	-----	-------	-----	------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	大古屋地区において昭和59年から事業を着手し、62年に供用開始となり、維持管理事業が始まる。その後、並木地区、飯田地区、佐野西部地区、常盤地区がそれぞれ供用開始し、維持管理を行っている。なお、平成18年度当初、大古屋地区が公共下水道に接続替えとなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	自然環境への関心が高まり、汚水処理の重要性が認知され、安定した汚水処理が求められている。しかし、財政状況も悪いことから、経費節減も強く求められるようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成19年2月議会の常任委員会において、農業集落排水事業を公共下水道への移管、常盤地区の普及率について質疑があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 公共下水道から離れた農山村地域の汚水を適正に処理するものであり、必要な事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 農山村地域の環境を守るのは、行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 施設を維持するために、本事業は必要である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 既に維持管理の主要な部分については民間委託していて、人件費の削減を図っている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	事業費の削減余地がある	理由・改善案 公共下水道の整備が近くまで来ている地区については、処理施設の維持管理費を削減するために、公共下水道との統合を進めている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
現在、4地区の水処理センターを維持管理し、継続されるかぎり、この事業は継続するが、公共下水道への統合が進み、すべての処理施設が廃止されれば、事業は終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			